

聖書にふれる

はじめのはじめ



日本聖公会 奈良基督教会

司祭 ヨハネ 井田 泉

光 ひかり

初めに、神は天地を創造された。

地は混沌^{こんとん}であって、闇が深淵の面^{おもて}にあり、神の霊が水の面^{おもて}を動いていた。

神は言われた。

「光あれ。」

こうして、光があった。

創世記 1:1-3

聖書は神の行動を伝えます。

神は言葉を発せられます。

「光あれ」

するとそこに光が輝きました。

わたしたちの闇と混沌の現実に向かって

神は

「光あれ」

と呼びかけ、光を造りだしてくださいます。

土 つち

水が地下から湧き出て、土の^{おもて}面をすべて^{うるお}潤した。

主なる神は、土（アダマ）の塵で人（アダム）を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。

創世記 2:6-7

神はこのわたしを土から造られました。

土の塵、それははかないもの、弱いもの、吹き去られるものです。

しかし土は命をはぐくみます。

神はわたしの中にご自身の命の息を吹き込まれました。

弱いものでできたわたしの中に

神の命の息が吹き込まれています。

このことを知るとき、わたしたちは謙遜にされ、同時に自分を尊ぶことを知ります。

火 ひ

そのとき、柴の間に燃え上がっている炎の中に主の御使^{みつか}いが現れた。彼が見ると、見よ、柴は火に燃えているのに、柴は燃え尽きない。

モーセは言った。

「道をそれて、この不思議な光景を見届けよう。どうしてあの柴は燃え尽きないのだろう。」

出エジプト記 3:2-3

モーセは神をよく知りませんでした。しかし神を求めていました。

神との出会いは、不思議な光景を見届けようとするところから始まりました。

モーセが近づいたとき、神がモーセに呼びかけられます。

燃えて燃え尽きない火。

それは神の尽きることのない愛を示しています。

木 き

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。
人がわたしにつながっており、わたしもその人につなが
っていれば、その人は豊かに実を結ぶ。

ヨハネによる福音書 15:5

枝に確かさがあるのではなく、木に確かさ
があります。

わたしは危うくても、イエスがわたしを支
え、命を強めてくださいます。

イエスがわたしたちを招き、わたしたちを
育み、成長させてくださいます。

ご自分を示して

「わたし」

と言われるイエスを見つめましょう。

イエスはわたしたちをとおして、
何かを实らせようとしておられます。

水 みず

イエスは言われた。

「わたしが与える水を飲む者は決して渴かない。わたしが与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る。」

ヨハネによる福音書 4:14

イエスはわたしたちに不思議な水をくださいます。

ただ教えるというのではなく、命の水をくださるのです。

わたしの中に与えられた命の水は

わたしをうるおし

やがてわたしから溢れ出て

人をもうるおすようになります。

わたしの中に命の泉が開かれたからです。

風 かぜ

五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。

そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。

すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。

使徒言行録 2:1-4

美しい音が天から聞こえます。音とともに神からの風がわたしの中に入ります。

窒息しかけていたわたしたちは息を吹き返します。その風は神の息だったのです。

神の愛の火がわたしたちの中に入り、わたしたちの内に燃えます。

わたしたちは温かくされ、熱くされ、勇気を与えられて、動きはじめます。

聖書

かつて書かれた事柄は、すべてわたしたちを教え導くためのものです。それでわたしたちは、聖書から忍耐と慰めを学んで希望を持ち続けることができるのです。

ローマの信徒への手紙 15:4

聖書は
わたしたちを
愛の神、命の神に導きます。

神はわたしたちをとおして働き
世界に
正義と平和と信頼を広げていかれます。

2015/10/25